

在南ア日本大使館  
領事がつづる

## 南アフリカ通信

Vol. 34

文◎新保 剛

2010年のワールドカップ開幕まで、ついにあと86日。開催国の南アでの観戦を予定している人は、現地在住の日本大使館領事から届くこのコラムで生の南アフリカを見て、知って、本大会に備えよう!

今回はサッカー観戦に欠かせない(?)、お酒について。

ワールドカップ開催期間中、南アは冬だが、空気が乾燥しているため、ビールがおいしい。オランダ移民から始めた国だが、途中で英国の統治を受けたため、双方のビール文化が融合したと言われている。ちなみに、筆者はドイツの影響もあると思っている。

南アではほとんどのレストランにビールが置いてある。また、生ビールは「draft beer」という。発音は難しくないのでぜひ試してほしい。なお、レストランやバーでは簡単に飲めるのだが、町中で購入するには酒屋(bottle shop)に行かなければならない。

南ア名産のワイン。なぜかワインだけはスーパー・マーケットでも販売されている。安いものはジュークスと同じくらいの値段だが、それなりに飲めるし、高いワインはもっとおいしい。現在は日本にも

輸出されている南ア産ワインの歴史は意外と古い。

17世紀中頃にヨーロッパから南アに到着した移民は、ケープタウン周辺がフトゥ栽培に向いた気候であることに気づき、開墾に着手。18世紀中頃には

大量のワインを英國に輸出するようになっていた。一説によれば、この時期はナポレオンがヨーロッパを席巻し、英國の貴族たちはフランスのワインが入手できないため、南アからワインを積極的に輸入したという。

さて、試合後一杯を待つサポーターに注意。これまで繰り返し述べたが、試合会場周辺は完全に禁酒であり、また会場付近で居残っていると犯罪被害に遭う可能性があるので速やかに宿に帰つてほしい。一杯を楽しむのは、そのあとだ。

正体をなくすほど飲むと犯罪者の標的になりやすい。密かに薬を盛られることがある。先日、ケープタウンで日本人出張者が酒席で仲良くなつた男性と飲んでいた。うちに意識を失い、翌朝にホテルの自室で目を覚ました。その時に財布だけでなくパソコンやビデオカメラなどが盗まれていた。

お酒を飲めない人には「ロックシャンティ」がある。南ア独特のアルコールを入れないカクテルだが、酒席でも違和感がない。お酒が飲めない人、運転する人などは試してみてほしい。



▲世界中をPRして回るザクミ。ワールドカップ期間中、スタジアムの周囲は禁酒なので要注意

著者プロフィール●一等書記官兼領事。06年より在南ア共和国日本大使館に勤務。業務の1つに在留邦人と日本人旅行者の安全対策がある。2010年のワールドカップに向け、日本人旅行者に安全情報を発信する

外務省海外安全ホームページ <http://www.pumanzen.mofa.go.jp> 在南アフリカ日本大使館 [http://www.za.emb-japan.go.jp/index\\_jp.html](http://www.za.emb-japan.go.jp/index_jp.html)